

1. 当該診療科の特徴	日本消化器病学会専門医認定施設 日本消化器内視鏡学会認定指導施設 日本超音波医学会専門医研修施設 日本消化器がん検診学会認定指導施設 日本大腸肛門病学会認定施設 日本胆道学会指導施設 当科入院患者数25,331人、外来患者数45,005人、内視鏡検査・治療件数15,684件(2015年)																	
2. プログラムの特徴	消化器疾患全領域の臨床対応が可能になる 上下部消化管・胆膵内視鏡診断ができる EUS・小腸内視鏡など全ての内視鏡診療が経験できる X線造影検査、血管造影検査、腹部超音波検査が経験できる 肝疾患の治療(TACE・RFA・PEIT等)を学ぶことができる																	
3. 到達目標	上下部消化管内視鏡・胆膵内視鏡治療ができる 緊急内視鏡検査・治療ができる 全ての消化器疾患に対応できる ICを含め十分な患者対応ができる 学会等で適切な発表ができる。																	
4. 研修期間	原則3年																	
5. 取得が可能な資格等	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="419 1196 770 1234">学会名</th> <th data-bbox="770 1196 1460 1234">取得可能資格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="419 1234 770 1272">日本消化器病学会</td> <td data-bbox="770 1234 1460 1272">日本消化器病学会専門医*</td> </tr> <tr> <td data-bbox="419 1272 770 1310">日本消化器内視鏡学会</td> <td data-bbox="770 1272 1460 1310">日本消化器内視鏡学会専門医*</td> </tr> <tr> <td data-bbox="419 1310 770 1348">日本超音波医学会</td> <td data-bbox="770 1310 1460 1348">日本超音波医学会専門医*</td> </tr> <tr> <td data-bbox="419 1348 770 1386">日本消化器がん検診学会</td> <td data-bbox="770 1348 1460 1386">日本消化器がん検診学会認定医*</td> </tr> <tr> <td data-bbox="419 1386 770 1424">日本大腸肛門病学会</td> <td data-bbox="770 1386 1460 1424">大腸肛門病専門医*</td> </tr> <tr> <td data-bbox="419 1424 770 1462"></td> <td data-bbox="770 1424 1460 1462">*資格取得のための準備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="419 1462 770 1487"></td> <td data-bbox="770 1462 1460 1487"></td> </tr> </tbody> </table>	学会名	取得可能資格	日本消化器病学会	日本消化器病学会専門医*	日本消化器内視鏡学会	日本消化器内視鏡学会専門医*	日本超音波医学会	日本超音波医学会専門医*	日本消化器がん検診学会	日本消化器がん検診学会認定医*	日本大腸肛門病学会	大腸肛門病専門医*		*資格取得のための準備			
学会名	取得可能資格																	
日本消化器病学会	日本消化器病学会専門医*																	
日本消化器内視鏡学会	日本消化器内視鏡学会専門医*																	
日本超音波医学会	日本超音波医学会専門医*																	
日本消化器がん検診学会	日本消化器がん検診学会認定医*																	
日本大腸肛門病学会	大腸肛門病専門医*																	
	*資格取得のための準備																	
6. 指導体制	当初は上級医とのマンツーマン体制で、3～6ヵ月後より全ての消化器内科医師によるカンファレンスを通じた集団指導体制																	
7. その他	後期研修医は2名在籍																	

2017 年度 後期研修医募集(消化器内科専門医養成コース)

京都第二赤十字病院消化器内科は約 30 年前より研修医・修練医の指導実績があり、日本全国で活躍する消化器内科関連の多数の専門医を輩出しています。現在われわれと一緒に働いてくれる後期研修医（修練医）の先生を全国から広く募集しています！

後期研修医 1 年目の経験症例の目安 (2015 年実績)

上部内視鏡：年間約 400 例（施行医として）

下部内視鏡：年間約 100 例（施行医として）

ERCP：年間約 50 例（施行医として）

超音波内視鏡：年間約 30 例（施行医として）

その他、腹部エコー・消化管透視・腹部血管造影など、

1 年目より数多くの症例を施行医として経験できます！！



後期研修医 1 年目の主なスケジュール

救命センター当直：月 2～3 回

消化器内科オンコール：月 5～6 回

各種カンファレンス：それぞれ週一回

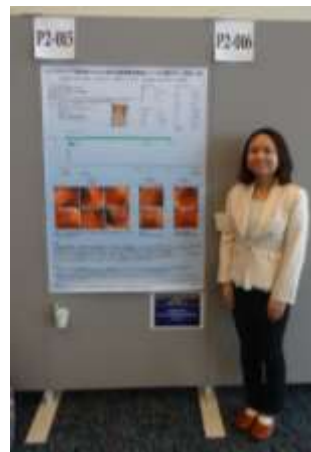
消化器内科カンファレンス

外科・病理合同カンファレンス

大腸カンファレンス

アンギオカンファレンス など

上級医へ相談できる機会が数多くあります！！



学会発表・専門医取得

修練医一年目から消化器病学会・消化器内視鏡学会・内科学会の各地方会での発表を年 2 回以上行っています。その他、各種研究会や全国規模の総会での発表も積極的に行っています。

当院で日本内科学会・日本消化器病学会・日本消化器内視鏡学会・日本大腸肛門病学会などの専門医取得が可能です。

研修終了後の進路

当院消化器内科スタッフ

一般病院勤務

大学院進学

など様々です。



ぜひ我々と一緒に働きましょう！

お問い合わせはお気軽に！